

千年地区まちづくり推進委員会

委員長 末吉 英治

（問合せ先） 084-987-3188（千年交流館）

●地域まちづくり推進事業●

事業内容

- (1) 防災活動（地区内全域 1,500人、11月23日防災訓練 全域500人）
- (2) 安心・安全活動（通年 地区内全域 1,000人）
- (3) 環境美化活動（通年 地区内全域 300人）
- (4) 地域ネットワーク（通年 地区内全域 1,200人）
- (5) 千年地区健全育成スポーツ大会（通年 想青学園グラウンドほか 200人）
- (6) 千年文化財巡りウォーク（参加人数 100人）
- (7) いきいきサロン（通年 地区内全域 1,200人）
- (8) 子育て・次世代教育講座（通年 千年交流館ほか 400人）
- (9) まちづくり推進委員会 運営事業（通年 地区内全域 200人）



防災訓練（煙体験）



健康・スポーツ活動：モルック講習会

成果

今年度はモルック大会や千年文化財巡りウォークなどの新しい事業を開催し、住民同士の交流を深めることができた。

課題

- ・参加した人からは、「楽しかった」と感想を言われるが、参加者が少ないことが課題。
- ・役員動員が偏ることも多く、働き世代が休日に出ることが負担になっている。

課題解決にむけて

- ・ニーズに合った事業を企画し、事業の魅力を発信していくことが大事。
- ・事業開催時にはボランティアを募り、スタッフの負担の軽減を考慮する必要がある。

2026年3月22日（日）
千年地区文化財巡りウォークを開催しました。



唐樋門は、江戸時代に磯新涯が干拓造成されたことに伴いつくられました。



田中新田は、戦後の引き上げ者の食糧不足解消や職の確保に土地を広げる目的で造成されました。



敷名の巖島神社は、上皇たちが宮島詣の途中で敷名に泊まり、「巖島神社のご神体にせよ。」と鏡一面を祀り造営しました。



千年藤は、「平家物語」で詠んだ藤のことで、「千年」の地名に由来しています。

千年地区では、3世代で交流しながら健康的に楽しめる事業として今年度「文化財巡りウォーク」を開催しました。

《 洲の端のお地藏さん → 唐樋門 → 桜土手 → 磯新涯 → 田中新田 → 敷名 巖島神社（千年藤） 》を歩いて巡り、地域に残る文化財の歴史を学びました。

地域の人が説明をしましたが、質問も多く出ました。「そこにあることを知っていても詳しくは知らなかった。昔の人の知恵や多大な尽力に改めて感動した。大切に残し伝えていかななくてはならないものですね。」と参加者から感想をいただきました。